

清流・清風・清香・清人

令和3年10月22日
教育指導幹 山下 勇

清水ブロック幼保・小連携推進協議会から

10月5日（火）に、清水小学校1年生の授業参観がありました。幼稚園や保育所、子育て支援課、教育委員会の職員が、1年生の子どもたちの学習の様子や先生の指導方法等について参観しました。コロナ禍で入学してから小学校生活が半年過ぎた子どもたちが、どのように成長してどんな力が身に付いてきているのか、学校の授業がどのように進められているのかを知ることができました。先生の話を書く子どもたちの姿、自分の考えを発表する姿、ワークシートに書いている文字などから、「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「考えること」の基本的な力が身に付いてきていることを理解することができました。



指導・助言から学校経営の改善、授業の改善へ

十勝教育局伊藤道彦義務教育指導監の2回目の訪問があり、町内小・中学校の学校経営に係る取り組みへの評価とともに、課題解決に向けての具体的な指導・助言をいただきました。

また、全学年・学級の授業参観を通して、子どもたちの学びの姿や先生方の指導の在り方等について、具体的なアドバイスをいただきました。今後の授業改善や生徒指導の強化に生かしてほしいと思います。また、今取り組んでいかなければならない課題〈働き方改革や人材育成〉について、計画的・継続的に進めていかなければならないことを確認しました。まずは、普段の教職員の子どもの関わりや指導の在り方の見直し、多角的・多面的な見方や考え方を身に付けるなど、教師力を高めるよう実践することを期待しています。「当たり前前のが当たり前ができる教職員」であってほしいと思います。（スーパーな教職員でなくていいんです。）

